

令和元年度 事業者向け「リトル・ピース」自己評価表

放課後等デイサービス リトル・ピース

回答者: 6名

実施日: 令和2年1月10日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	取り組み状況
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				法令を遵守したスペースを確保しています。また、ホールや広い園庭を使うことができます。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1			定められた基準を上回る職員を配置しています。また、利用の子どもの状況や職員の急な休みなどの場合には、職員同士連携を取り合いながら支援を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3			段差があり転倒が予測される箇所では、お子様に転倒等の怪我がないよう職員が配慮しています。また、安全面に関する環境整備については、日々配慮し必要に応じて改修等を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				定期的なミーティングを開催し、業務改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				年度初めにアンケートを実施し、要望等の把握に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				当法人公式ホームページ『ひびきてちょう』のなかで、「放課後等デイサービス自己評価表」を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		4		まずは自己評価を行うこととし、第三者による外部評価については、今後の検討課題といたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				内部研修を計画的に実施しています。また、外部研修への参加を含め、これからも研修の機会を確保してまいります。
適切な 支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			職員ミーティングや保護者面談、及び、児童・生徒が通学している学校の先生との連携会議を通じ、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			6		今後必要に応じて、アセスメントツールの使用を検討してまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	1		活動プログラムの立案は担当者が行い、取り組みはチームで行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1			10種類以上の活動があり、その内容も毎回工夫し固定化しないように努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	1		放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の支援目標を、様々な状況と利用児の姿に応じて支援に取り組んでいます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				お子様一人ひとりの興味関心や特性、その時の状況に応じた放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成しています。

の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				打ち合わせは毎日しています。利用児が長期休業中等で職員そろっての打ち合わせができない場合は、口頭での申し送りや児童記録の記載内容を確認することにより、情報共有をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				支援終了後に職員間での打ち合わせを行い、その内容を児童記録に記入しています。終業時間の違いで打ち合わせに参加できない場合は、翌日児童記録を確認することで情報共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				学校や家庭からの情報や、当事業所でのエピソードを児童記録に記入しています。また、その児童記録等をもとに支援についての話し合いをしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6				基本活動を複数組み合わせて行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2			障害児相談支援事業所が開催するサービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2			学校より、年間・月間・週間の予定表をいただき、児童・生徒の下校時刻の確認等を行っています。
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	4		現在は医療的ケアが必要なお子さまの利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	1		相談支援専門員や児童発達支援事業所との情報共有や、相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	3		相談支援専門員を通して情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1		岩手県発達障がい者支援センターウィズ主催の研修会に職員が参加しています。また、令和2年2月に、一関市の療育教室との共催で支援者向けの研修会を開催しました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		5		放課後児童クラブとの交流はありませんが、今後どのような交流の仕方があるかを考えてまいります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6				所属長が参加し、協議会の内容は職員にフィードバックしています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				保護者のお迎えや送迎時に、その日の活動の様子をお伝えするなど、今後とも情報の共有に努めてまいります。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		1		保護者の思いを受け止めたうえで支援を行っています。ペアレント・トレーニングは行っていませんが、保護者と話し合いを重ねながら支援を行っています。	

保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				運営規程や利用者負担等については、契約時に丁寧に説明しています。具体的な支援内容については、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の説明時や、毎回の支援終了後等に保護者の方へお伝えしています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				年に2回保護者面談を開催したり、保護者のお迎えや自宅への送迎時に行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3			3	当施設に父母の会はありませんが、クリスマス会等の行事を開催することで保護者同士の親睦の機会を設けています。また、PTA活動へ参加依頼をいただいた際には、可能な限り参加させていただくことで、保護者の方々の連携を図るお手伝いをさせていただいています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		1		苦情を密実化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や施設の信頼や適正の確保を図ることを目的として「苦情解決規程」を整備しています。また、いただいたご意見や苦情には迅速かつ適切に対応してまいります。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				定期的にひびき通信(会報)等を発行しています。また、公式ホームページ内のブログにより、子どもたちの活動の様子を発信しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	6				個人情報に記載されている書類等は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、職員間の会話でも個人情報に十分注意しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				お子さまや保護者の方の置かれている状況に応じ、視覚的情報等を活用して意思の疎通や情報伝達を行っています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			1	地域の行事へ参加したり、収穫した野菜を近隣の施設等へお裾分けに行くなどの交流を行っています。また、地元の地域協働体から依頼を受けて、当法人の活動紹介と音楽活動の出前講座に講師を派遣しました。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		1		法人として各種マニュアルを策定し職員に周知するとともに、保護者面談時等を利用して保護者の方々へお知らせしています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				年に2回の避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				内部研修時に、「障害者福祉施設等における障害者虐待防止と対応の手引き」を職員で読み合わせをし、やむを得ず身体拘束を行う場合の留意点を共通理解しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			1	身体拘束をする場合の要件を利用児ごとに定め、職員間で共有しています。また、その内容を保護者に事前に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しています。やむを得ず身体拘束を行った場合は、「身体拘束記録」に必要な事項を記載し、その後の職員ミーティング時において、その内容を報告し、対処の仕方について再検討しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6				医師からの指示書に基づき対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				職員ミーティング時にヒヤリハットの有無を確認し、対応策について検討しています。